

# 附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標・発見し、はぐくみ、かたちにする学びの広場  
めざす人間像:よりよい未来を共に創り出す人間

第1号 2024年7月19日(金)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

## 日曜日の夕方のアニメから

附属山口中学校 校長 前原 隆志

「サザエさん」の磯野カツオくん、「ちびまる子ちゃん」のさくらももこさん、「ドラえもん」の野比のび太くん・・・いずれも、国民的人気アニメの主人公です。3人とも永遠の小学生で、いつまでも歳を取りません。しかし、この3人が成長したらどんな大人になるのだろうか、と考えてみたことはありませんか。最も長期連載である「サザエさん」は、戦後間もない時期に連載がスタートしています。初期の原作作品では、カツオ君が戦時中の思い出を語っている場面があるそうです。つまり、生きていれば現在80歳近いお年寄りになっていることになってしまいます。この3人に共通するのは、マイペースで楽天的で勉強が苦手ないつも怒られてばかり・・・。欠点を挙げれば、次々に出てくる場所です。とても国民的アイドルになれそうもありません。そんな、一見だらしのない主人公が活躍する番組が、「中央児童福祉審議会推薦」番組になったり、「青少年に見てもらいたい番組」に指定されたりしています。

この3人に共通するだらしなさは、実は私たちみんなが心の中で共感できるものなのです。3人のように実行することは少し恥ずかしいけれど、そんな風にできたら楽しいだろうと思う部分があるのです。私たちは、アニメの主人公に、自分の心の本音を投影しているとも言えます。

テレビ番組では、毎回、主人公がちょっとしたできごとに出会います。日常的にありがちな、しかし小学生にとっては大事件です。それを主人公は、周りの友達や家族を巻き込みながら、一つ一つ解決していきます。私たちは、ちょっとだらしのない主人公が我を忘れて頑張る姿を、世代を超えて応援したくなってしまいます。時代も世相も大きく変わったはずなのに、人間関係のトラブル解決の手順は、ちっとも変わっていないことがわかります。その積み重ねこそが、ご長寿番組になった理由だと思います。

そしてこの3人は、どんな場面でも、人を攻撃したりいやな思いをさせたりしないことも共通しています。むしろ、反省する場面の方が多いようです。そして皮肉なことに、その反省が次の行動に生かし切れていないことも、ご長寿番組となった要素の一つかもしれません。カツオ君が反省を生かして成績優秀になったり、のび太君が自立して道具を必要としなくなったりしたら、番組も終了してしまうでしょう。

そして、この3人が大人になったら・・・。もちろん成長した姿が原作者そのものであることは間違いありません。しかし、その生き方に共感している私のような大人になるのかも知れません。あるいは、こんな子ども時代を過ごしていたなら、自分はずっと別の人生があったかも知れないと、想像を膨らませることができるのかも知れません。

日曜日の夕方、本当はとってもさみしい時間帯に、アニメの人気者から週明けの元気のエネルギーを少しだけもらえる日常に、感謝したいと思います。

## 【附属幼稚園】

小学校の運動会があった次の日、幼稚園では運動会で小学生が踊っていた「ポケダンス」を踊りたいと年長児が曲を口ずさみながら「こうだったよね」「違うよ、こうよ」と自分たちなりに踊っていました。「1年生に教えてもらいたいね」という話になり、年長担任が1年生の担任に相談し、園児の思いを1年生に伝えてもらいました。中間休みになると幼稚園と小学校をつなぐ中庭で1年生が曲に合わせて踊りながら、年長児に「この手はこっち」「腰はこう」などポイントを教えてください。日に日に園児たちも踊れるようになり、今度は「小学生に見てもらいたい」と、遊戯室に見に来てもらうことになりました。踊りを踊れるようにすることが目的なら保育者が教えることもできます。でも園児にとって憧れの小学生に教えてもらえる嬉しさや、小学生にとっては教えることによって自信や誇りにつながることで、交流の中で生まれるお互いの思いに意味があると思います。園児の声から始まった交流ですが、子どものしたい思いを日々大切につなげていること、小学校の先生方が同じように子どもの思いを大事にしてくださったことで実現した交流でした。



